

## オンライン同窓会を成功させるために

令和3年9月18日に大学卒業42周年オンライン同窓会をしてからわずか一か月、10月16日に中学校卒業50周年のオンライン同窓会も主催しました。大学の同級生も中学校の同級生たちも皆楽しくて成功したと言ってくれました。成功したと言えるのはどうしてでしょうか。まず、50名の昔の同級生のなかから20名位が出席できました。そして、オンライン開催中に、昔の連中が入り乱れて場にふさわしくない発言を乱発する状況でもなく、また、誰も無口で気まずい雰囲気になることもありませんでした。

ここに、オンライン同窓会の経験を皆さんに共有させていただきたいと思います。成功するために注意しなければならないポイントを次の五点で説明させていただきます。

1. まず、オンライン会議ソフトウェアの選択についてはなしたいと思います。普通のオンライン会議ソフトウェア無料体験版バージョンは30分か、45分の時間制限があります。オンライン同窓会は必ず2時間以上必要です。そのためには有料版を入手してください。同窓会が中途半端でソフトウェアのせいで、切られちゃったら、本当に残念だと思います。
2. 次には、どうやったら、より多くの同窓生を集められますか？昔の同級生への呼びかけとその後の情報交換の一番有効な方法は、ソーシャルメディアのグループの活用です。例えば、ラインとワッツアップはよいツールだと思います。呼びかけの時、まず、はっきり最小参加人数目標をあらかじめ設定するのがいいとおもいます。例えば8名としたなら、それ以上確保出来れば実施します。もしこの人数さえ集まらず同窓会をやる気がないのなら、今回の同窓会は見送りなさい。また、先生のお誘いは必ず電話か、お宅に伺ってください。
3. さらに、資料の準備もオンライン同窓会を成功するため不可欠です。長年会わなかった同窓生たちが、近況と卒業してからの自慢話を皆さんに報告する時、写真とかビデオを使うと役に立ちます。卒業してからのあちらこちらの集まりの時の写真も用意してください。参加出来なかった方にみせるためです。面白いです。亡くなった方について追悼のために皆さんから一言もらえたら、いい弔いになると思います。とはいえ、参加者から写真とビデオを収集するのは難しいです。ソーシャルメディアのグループからではなく、プライベートでリクエストしつづけたら送ってもらえるでしょう。

皆さんの資料は、必ず、スライドを作ってください。毎日か一日おきに、皆さんにそれまでに作ったスライドの半製品を共有したら、レビューの目的もありますが、写真をまだ送ってくれない人への奨励にもなります。

4. そうして、普通の同窓会と違って、オンライン同窓会には、リハーサルが必要です。リハーサル？ これはやり過ぎでしょうか？ われわれオジーさん、オバーさんたちにとって、

オンライン会議のソフトウェアを必ず使いこなせるとの想定はあり得ないです。リハーサルの目的は主にマイク、スピーカとカメラの設定のためです。僕の経験では、リハーサルには同級生のお子さん、お娘さんの姿もありましたよ。おやじとおふくろのオンライン会議ソフトウェアやハードウェアを手伝うため、カメラの前に出てくるからです。お子さんたちも挨拶できることは、オンライン同窓会の副産物とも言えます。

5. 最後に、オンライン同窓会の司会は映画のディレクターのようです。流暢に同窓会を執行するために、司会者が、まず、オンラインソフトウェアのいろいろな機能を詳しく学ばなければいけません。例えば、一方で参加者の背景騒音を抑えるために、司会者が、ミュートさせることができます。その傍ら、しゃべりすぎる方を巧みにやめさせることもできますし、ずっと黙っている方に適当な質問をしながら、発言を促すこともできます。有効的に、同窓会の時間をコントロールするのは司会者の役目にちがいないと思います。

普通の同窓会と同じく、オンライン同窓会も写真を撮ることもできます。是非とも、皆さん揃って写真一枚とりましょう。普通の同窓会と違って、オンライン同窓会は開催のあと、スライドも残っています。出席できない同級生たちは、後日、スライドを読むことができますし、自分の資料を追加することもできます。このスライドは永続的に存在します。次の同窓会にすこし更新して使うことができます。